

農村振興局長賞（団体の部）

住民との信頼関係に基づく連携により、効率的な鳥獣被害対策を推進。地域自らによる被害対策を後押し。

猪苗代町

ぜんご ひろし
(町長：前後 公)

主な取組

福島県猪苗代町

平成22年に鳥獣被害対策の専任職員を配置し、巡回等を通じて町内の住民の信頼を得ることで、住民と行政が連携した効果的な鳥獣被害対策の取組が実現。

ニホンザルやツキノワグマをはじめとした加害獣をラジオテレメトリー調査により監視することで、群れの位置や個体の移動状況を把握するとともに、巡回により得られた群れの位置状況や出没、被害状況等の情報をメールマガジンで提供。

(平成27年11月：159名 メールマガジン登録者数)

住民自らの判断で適切に鳥獣に対応することが可能な環境を整えるとともに、捕獲隊による効率的な駆除にも活かされる。

地域自らによる対策の推進を図るため、地域独自の対策組織の設立を目指し、研修会の開催や助言指導も積極的に実施。町内には独自の対策組織の取組により被害を撲滅する集落も現れている。

(平成19年：170万円→26年：30万円 町のニホンザル被害金額)

鳥獣被害の問題を抱える地域を地方行政が支援する取組のモデルとして評価される。